

第44回全国共通テスト国語 (時間 40分)

学研教室

級	8級	名	前	学年	教室名	会員番号
	解答			2年		

2023年実施
131418

1 ーの漢字に、読みがなを
つけましょう。

(たいせつ)

(1) ものを大切に つかう。

(かぞ)

(2) えんぴつの かずを数える。

(こうさく)

(3) 工作で、船のもけいを作る。

(しんゆう)

(4) 同じクラスに親友がいる。

(としよ)

(5) 図書館で、本を かりる。

(もん) (いえ)

(6) 大きな門の りっぱな家。

2 □に漢字を書きましょう。

(8) 休み時間、体を うごかす。

(9) みんなで、歌 をうたう。

(10) すべり 台 で あそぶ。

(11) 金 色 の ボタン。

(12) 一 週 間が すぎる。

(13) 魚 をやいて (14) 食 べる。

3 つぎの漢字は、何回で書きますか。正しいものの()に、○を
つけましょう。

(15) 広 { () 四回
(○) 五回
() 六回

(16) 里 { (○) 七回
() 八回
() 九回

(17) 新 { () 十一回
() 十二回
(○) 十三回

うらにも もんだいがあります！

4 一さの 文章に 丸(○)を 二つつけましょう。 (二つできま○)

(18) 雪が つもりました。 みんなで 大きな 雪だるまを 作りました。

5 つぎの 文の 会話の 部分に、かぎ()をつけましょう。

(19) お母さんが、わたしに 「おつかいに行ってきた。」 と言いました。

6 点(・)の 場所に 気をつけて、つぎの えに 合う ほうの 文に、○をつけましょう。

(20) () 兄は 弟と、妹に バナナを あげた。



(○) 兄は、弟と妹に、バナナをあげた。

8 ーの 言葉を 組み合わせて、一つの 言葉に しましょう。

〈れい〉 考えを 文章に かいて あらわす。 → (かきあらわす)

(24) シャワーで、あせを あらって ながす。 → (あらいながす)

(25) 木を おので きって たおす。 → (きりたおす)

(26) にげた 子犬を さがして まわる。 → (さがしまわる)

(27) しずかに するように、弟に いった きかせる。 → (いいきかせる)

おもてにも もんだいが あります！

7 つぎの えの 中から、かたかなで 書く ▲の 言葉を 一つずつ えらび、()に かたかなで 書きましょう。

(21) ちやわん 	こつぷ 	さら
はし 	▲外国から来た言葉 (コップ)	

(22) たいこ 	すず 	びあの
もつきん 	▲外国から来た言葉 (ピアノ)	

(23) もこもこ 	もぐもぐ 	びよびよん
ちゆんちゆん 	▲とらぶつこの 鳴き声 (ケンケン)	

いっしょに書く

マヤ

級	前
8	名

9 二つの には、同じ形の漢字の部分が入ります。合うものを、 から えらんで書きましょう。

(28) 毎 は 也 より 広い。

シ

(29) 氏 に 会 を かく。

糸

(30) 青 れ た 月 る い 空。

日

イ 日 言 シ 糸

12 <ぎく文>の () に 合う 言葉を、上の <メモ> から 書きぬきましょう。

<メモ>

◇ しょうかいする人
いとこ...かとうあきら

○ とくいなこと

◎ えをかくこと

- なんでもしようす
- にが おえ
- どうぶつ
- りもの ひこうき

↑ とくにしようす

○ とくいなことをあわすじつ
このあいだ あそびにいったとき、ひこうきのえをかいてもらった。こまかいところまで、よくかけていた。

<ぎく文>

わたしのいとこの、かとうあきらさんについて、しょうかします。

あきらさんのとくいなことは、

(35) (**えをかくこと**) です。なんでもしようすにかけますが、とくにのりものをかくのがじょうずです。

このあいだ、あそびにいったとき、ひこうきのえをかいてもらいました。

(36) (**こまかいところまで**)、よくかけていました。

10 つぎの 文で、主語に 当たる 言葉を えらび、○を つけましょう。

(れい) (○) () ()
ぼくは、テレビを 見る。

(31) (○) () ()
お父さんが、新聞を 読む。

(32) () (○) () ()
きのう、すすめが にわに 来た。

11 つぎの 文で、じゆつ語に 当たる 言葉を えらび、○を つけましょう。

(れい) () () (○)
わたしが、つくえを かく。

(33) () () (○)
子犬が、ワンワン ぼえる。

(34) () () (○)
夕日が とても うつくしい。

13 つぎの文章を読んで、下のもんだいに答えましょう。

1 下のえの、木の名前がわかりますか。

2 これは、ヤシの木です。ヤシの木は、南の国の植物で、強い日差しをうけて高くのび、大きくてかたいみをたくさんつけます。



3 ヤシのみをわると、中には、ほんのりあまいするがたまっています。あつい南の国の人たちには、ありがたいジュースです。

4 日本には、こぼれてきたヤシのものは、いろいろなにすがたをかえて、わたしたちの生活にやくだっています。

5 たとえば、ミルクやケーキ、アイスクリーム、インスタントラーメンなど、多くののみものやたべものに、ヤシのみにからしぼりとったあぶらがつかわれているのです。

6 ヤシのものは、たべものだけにつかわれるのでしょうか。いいえ、そうではありません。石けん、だいどころ用のせんざい、シャンプー、リンスなどにも、ヤシのみのあぶらが、つかわれています。

7 ヤシのみのからをざいりようにして作られたものに、なべなどをあらう、かめの子だわしがあります。これは、百年ほど前に、日本人が発明したたわしです。ヤシのみのからにぶくまれているせんい(細い糸のようなもの)をりようしたもので、今でも多くいいてつかわれています。

8 このように、南国そだちのヤシのものは、すがたをかえて、いろいろなところで活やくしています。



▲かめの子だわし (産地 南の国)

37 ヤシの木は、どんな植物ですか。

□に合う言葉を

書きぬきましょう。(二つできると)

南の国の植物で、

大きくてかたい を

つける。

38 ヤシのみのあぶらが

つかわれているのみものや

たべもの ことがわかるのは、

どの まとまりですか。1~8の

番号で 書きましょう。

39 ヤシのみのからをざいりようにして作ったものは、何ですか。

(かめの子だわし)

40 どんなことを中心にせつ明した

文章ですか。一つ えらんで、記号を ○で かこみましょう。

ア ヤシのものは、どんなところでそだつのかと いうこと。

イ ヤシのものは、どのようにやくだっているかと いうこと。

ウ ヤシのものは、からまでつかえると いうこと。